

PRESS RELEASE



やまがたの上質ないいもの。
その魅力をもっと伝えたい。
この新しいブランドマークを旗印に、
山形のいいものの魅力を伝えていきます。

令和5年12月8日

県政記者クラブ報道機関 各位

山形県産業労働部産業創造振興課

yamagata yori-i project

(山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業)

「令和5年度プロジェクト進捗及びデータブック中間報告会」 を開催します

令和4年度から最上地域をモデルエリアに実施している「ソーシャルイノベーション創出モデル事業」通称：Yamagata yori-i project(以後、yori-i project)については、令和5年度のプロジェクト進捗とモデルエリアでとりまとめているデータブックの中間報告会を下記により実施しますので、取材・報道についてよろしくお願いたします。

記

日時 令和5年12月12日(火) 14:00~16:30

場所 山形県産業創造支援センター(山形市松栄1丁目3-8)

- 内容
- ① 「山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業」概要説明
 - ② 本事業の成果について
 - ③ データブックのご説明
 - ④ 参加者交流
 - ⑤ これまで発表した事業のパネル展示

出席者 山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター センター長 小野寺忠司
公益社団法人山形県企業振興公社 理事 小松浩
yori-i project コーディネーター及びアジェンダリーダー

■ Yamagata yori-i project について

yori-i project は、産学官や産業などのセクターを超えた力を結集しデータを基に取り組む課題解決手法「コレクティブ・インパクト」を軸に、多様化する地域課題の解決やそれに伴う新規創業・事業創出を活性化し、そのノウハウを他地域に転写していくことを目指すプロジェクトです。活動に共感頂いた行政・企業・個人がボードメンバーとしてプロジェクトに参画しており、その数は現在、約150社（個人含む）に及んでいます。

プロジェクトとして本格的に課題解決に取り組んでいくための活動指針となる「人」「産業」「健康」「地域資源の保全」「環境保全」の5つの“アジェンダ”を設定し、そこから社会課題解決型ビジネスの創出を目指しています。

<参考 URL><https://yori-i.org/>

■ データブックの作成について

本事業は、プロジェクトコーディネーターが地域で実施するヒアリングに加え、RESAS 等のオープンデータから見えてくる構造的な改題の抽出に加え、マイクロ起点の課題を社会インパクトに繋げるための裏打ちを行っています。

令和5年度は、データ分析担当のコーディネーターを2名配置し、データに基づいた施策の展開や社会課題解決型ビジネスの創出に寄与することを目的にデータブックを作成しており、その内容等についての中間報告を併せて実施します。

担 当：産業労働部 産業創造振興課
スタートアップ推進室
室長補佐 渡邊 (023-630-2364)
報道監：産業労働部次長 岡崎